

# 因島高校を支援する会

発行 因島高校を支援する会  
会長 竹中啓修  
事務局 因島高校PTA  
☎08452-4-1281  
題字 竹中啓修

## 学校評議員決まる

平成十五年度学校評議員に、次の方々が、委嘱されました。竹中啓修(同窓会長、支援する会会長) 村上正則(前PTA

会長)、村井圭一(PTA会長、村上富男(同窓会副会長、旧ほたる会会長)、岡野隆一(元因島青年会議所理事長。因島高校の発展のためにお力添えをお願いします。)

進クラスの生徒の励みになるようにしたいですね。

ただけです。竹中 支援する会の会報は市や区長会のご協力により、市内全戸配布されていますから、大きなPRになりますよ。

つてくれとせがむとか、校内まで、親が自動車で送ってくるのは、困りますね。親が、子に権威をもって、はつきり言うことですよ。

松林 広島県立高校では、授業時数の確保が、重要視され、応援のとき、休みにできにくいのです。しかし、始業式のあと、授業するなど、工夫すれば、時間は生まれてきます。前任高校では、夏休みも数日、授業日に当てていましたよ。

## 因島高校への期待と義務教育との連携

### 宮地 康福 教育長に聞き

因島高校を支援する会会長 竹中啓修  
因島高校PTA会長 村井圭一

明日を担う因島の子どもの教育、因島高校への市民の期待、義務教育と高校との連携などについて、四月十八日、宮地康福教育長と、この度因島高校に赴任された松林博文校長にお聞きしました。



因島市教育長 宮地 康福

教員全員で考える必要ありと、話しています。

竹中 因島高校が統合されてまもなく、教師に対する暴力事件が発生するなど、学校が荒れていました。島外に進学する生徒も増加しつつあり、このままではいけないと危機感を持ち、同窓会、高校PTA、市内小中PTAが中心になって、「因島高校を支援する会」を設立し、因島高校の再生を応援してきました。皆さんのご協力により、年々よくなってきました。感謝しています。

宮地 今までは義務教育での学力、学習態度が不十分のまま高校に送り出していたと思います。四年前から「因島教育フレッシュアップ推進協議会」を作って保幼小中高校の校長、保護者の代表が、集まって協議しているが、できた課題についてそれぞれの現場で取り組んでもらって、徐々に子どもも学校も変わってきたと感じます。

村井 かつては、遅刻も二五〇人くらいいましたし、服装もビーチサンダルや、シャツも出したり、だらしなかったです。授業態度も悪く、PTAが、学校に何度も行きましたが、先生方からPTAへの反発が、大きかったのですが、地道な努力の結果ですね。

松林 生徒は素朴です。生徒の方から挨拶もしてきます。三年生が卒業してから、学校改革に取り組み、教員の意識も変わってきましたね。

松林 この度、海田高校教頭からこちらに参りました松林です。よろしくお願います。

地元中学校から因島高校への進学率が五三・二%です。これを食い止めるには、魅力ある高校を作ることで、す。教員にも「このままでは、高校はなくなるかもしれない」という危機感をもたせ、



因島高校校長 松林 博文

松林 私が、さっそく始めたことは、授業の巡回と、校内指導です。毎日一回は、校内を廻り、授業が成立しているか、見て廻っています。授業中、寝ている生徒がいたので、起こすよう、教員に指導したところですが、校門に立っていますが、現在遅刻は、十人程

竹中 前は、ぐちゃぐちゃでしたよ。いい学校にしたい、因島にひとつの高校を、市民が守り育てようと自分たちの高校だという気持ちの者が増えてきましたよ。

村井 オーストラリア海外研修は、市や教育委員会のご尽力により、補助金を頂き、昨年十七名の生徒が参加し、大きな成果がありました。ありがとございました。

宮地 帰国後、高校生が出身の中学校で、体験談を発表しましたが、因島高校へ進学しようと感じた後輩の中学生も多くいたようです。

村井 プライビー高校では、昨年行った因島高校の生徒の評判もよく、日本語を第二外国語の選択科目に計画中だそうです。日本語を勉強する生徒も増え、日本、因島へ来たいという生徒も増えてくるでしょう、そうなれば交流も増えてきます。

松林 重井中の出前授業は、評判よかったですよ。赴任してすぐ、四月二日に各中学校に挨拶に回り、因島高校の理解を深めてもらうことが重要だと思います。

松林 昔は、なんでも、頻りに職員会議をして決めていた。が、今では、校務運営会議で物事を決めて進めています。校長主導で、決定し、行動しています。

松林 前は、なんでも、頻りに職員会議をして決めていた。が、今では、校務運営会議で物事を決めて進めています。校長主導で、決定し、行動しています。



支援する会会長 竹中 啓修

竹中 代々木ゼミのサテライト講座は、どうですか。

松林 今年も取り組む計画です。

村井 昨年は、内容を広げたため受講費用もかなり、大赤字でした。夏休みとか、科目も限定して、サテライトを継続したいと思っています。

松林 今年の卒業生は、国立に四人でしたから、限りなく十人に近づけることを目標に努力したいと思っています。特



会談の様子

松林 教科指導は学校ですが、しつけの面は、親や家庭が指導するのが基本です。

松林 広島県立高校では、授業時数の確保が、重要視され、応援のとき、休みにできにくいのです。しかし、始業式のあと、授業するなど、工夫すれば、時間は生まれてきます。前任高校では、夏休みも数日、授業日に当てていましたよ。

松林 昔は、なんでも、頻りに職員会議をして決めていた。が、今では、校務運営会議で物事を決めて進めています。校長主導で、決定し、行動しています。

松林 私は熊野町に住んでいますが、熊野では、中学校はこの中学校にも入学できません。

松林 前は、なんでも、頻りに職員会議をして決めていた。が、今では、校務運営会議で物事を決めて進めています。校長主導で、決定し、行動しています。

宮地 義務教育もそのような姿になってきましたが、職員会議も少ないですから、先生がたも、教科の準備や、生徒達とのふれあいに時間を十分取れるようになりました。

松林 人事評価制度が導入されました。一年間の目標を立てて、それに対して、どう取り組んだか、結果どうだったか、自己評価するんですよ。また、校長は、各教師に対しての目標に対して、面接をして、指導していくことになります。

松林 前は、なんでも、頻りに職員会議をして決めていた。が、今では、校務運営会議で物事を決めて進めています。校長主導で、決定し、行動しています。

松林 人事評価制度が導入されました。一年間の目標を立てて、それに対して、どう取り組んだか、結果どうだったか、自己評価するんですよ。また、校長は、各教師に対しての目標に対して、面接をして、指導していくことになります。

松林 前は、なんでも、頻りに職員会議をして決めていた。が、今では、校務運営会議で物事を決めて進めています。校長主導で、決定し、行動しています。

松林 前は、なんでも、頻りに職員会議をして決めていた。が、今では、校務運営会議で物事を決めて進めています。校長主導で、決定し、行動しています。



PTA会長 村井 圭一

松林 「学校だより」を作ったので、中学校に配ろうと思っていたのですが、支援する会の会報に、記事を載せていただければ、中学校だけでなく、市民のみなさんにも読んでいただけます。

松林 前は、なんでも、頻りに職員会議をして決めていた。が、今では、校務運営会議で物事を決めて進めています。校長主導で、決定し、行動しています。

宮地 義務教育も今年から、同じようにするようになりそうです。民間の発想を取り入れたことです。

松林 前は、なんでも、頻りに職員会議をして決めていた。が、今では、校務運営会議で物事を決めて進めています。校長主導で、決定し、行動しています。

松林 子どもが携帯電話を買ったことですか。

松林 前は、なんでも、頻りに職員会議をして決めていた。が、今では、校務運営会議で物事を決めて進めています。校長主導で、決定し、行動しています。

松林 前は、なんでも、頻りに職員会議をして決めていた。が、今では、校務運営会議で物事を決めて進めています。校長主導で、決定し、行動しています。

松林 前は、なんでも、頻りに職員会議をして決めていた。が、今では、校務運営会議で物事を決めて進めています。校長主導で、決定し、行動しています。



# 平成15年度学校経営計画

広島県立因島高等学校 (全日制課程)

## ●中期経営目標と年度達成目標

### 1. 生徒指導の充実を図る。

- ① 服装・頭髪違反者を減少させる。
- ② 喫煙を撲滅させる。
- ③ 物品の盗難防止対策を確立する。
- ④ 授業規律を確立させると共に、図書館利用のルールを作る。
- ⑤ 集会等における規律を確立する。
- ⑥ 遅刻・早退・欠課を減少させる。
- ⑦ 環境美化への意識の向上と清掃の徹底を図る。
- ⑧ 自転車の運転マナーの向上を図る。

### 2. 教科学力の向上を図る。

- ① 将来に展望をもたせ、進学意欲の向上を図る。
- ② 進学学力の向上をめざした進学補習の充実を図る。
- ③ 生徒に教科学力をつけるための授業を創造する。
- ④ 進学をめざす勉強合宿の充実を図る。
- ⑤ シラバスを活用し、マネジメントサイクルに基づく授業改善を行う。
- ⑥ 総合的な学習の時間の年間計画を作成し、教育内容化を行う。
- ⑦ 進路を保障する適切な教育課程を編成する。
- ⑧ 進路実現に対するモチベーションを高めて、主体的な学力向上を図る。

### 3. クラブ活動と生徒会活動の活性化を図る。

- ① 新入生を対象にして各クラブの活動状況の宣伝に努める。
- ② 新入生を対象にしたクラブへの勧誘活動を積極的に勧める。
- ③ 活躍が期待できるクラブを積極的に育成する。
- ④ 地域行事へ積極的に参加していく。
- ⑤ 学校行事を広く地域に公開する。

### 4. 「開かれた学校づくり」を推進する。

- ① 学校からの情報発信を積極的に進める。
- ② 地域社会へ学校の施設・設備を開放するとともに、地域住民への公開講座を開講していく。
- ③ 地域社会で活躍している方を、本校に招聘して講演会を開催していく。

## 平成15年3月卒業生

	男	女	計
大 学	31	17	48
短 大	2	23	25
専 門	30	32	62
就 職	32	24	56
その他	12	10	22
計	107	106	213

進学で残念なことは、国立大の合格者が例年の六割(四名)という結果で、今まで取り組んできた指導がうまく機能しなかったと感じています。さて新三年生は、大勢の生徒がさっそく進路指導室を訪ね、クラス担任も模擬試験返

習慣にかかわるマナー違反(無断欠席、自転車一人乗り、遅刻、禁止区域の進入など)更に五月から「基本的な生活習慣にかかわるマナー違反」生徒自身が善悪や判断ができ、自主性や公共心が育つことを期待している。

現在、因島高校定時制では生徒が減少し、学校の統合も叫ばれる中、学校を存続させるために一般市民の入学も呼びかけており、現在、三人の中高年の方が若い人たちに交

卒業させることは差し支えない。」と事務連絡(回答)をした。これにより、広島県では、文部省からの回答中の「普通科以外の学科に再入学することは可能であり」を根拠として、「普通科卒業生の普通科再入学はできない」と解釈されている。ということである。

昭和四十二年、大分県教育庁が文部省に、「高等学校普通科卒業後、大学鉱山学部を卒業したものが、高等学校定時工業科電気科に再入学した。学業成績もよいので、普通科科目について、履修を免除して専門科目だけの履修で卒業させてもよいか。」と照会したところ、文部省初等中等教育局高等学校教育課は「高等学校の普通科をいったん卒業したのについて、高等学校の普通科以外の学科に再入学することは可能であり、校長の判断により、工業の専門の教科のみ履修させ、卒業させることは差し支えない。」と事務連絡(回答)をした。

文部省事務連絡は、昭和四十二年のもので、現在、定時制の生徒は減少し、むしろ、入学者が増えれば、生徒数も確保され、安定すると考えます。村井圭一さんと村上正則さんは、PTAや支援する会の活動を通じ、高校のすばらしさを市民にPRしてきましたが、「定時制を、市民がバックアップし、また、そのことにより、市民も学習の場が提供される、こんなすばらしいことは無い。ぜひ県教育委員会は、考えなおしてほしい。」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

## 因島高校 進路実績について

### 因島高校進路指導部

今年の卒業生は、例年と比べて就職の割合が多い。高校生の就職は厳しいといわれる中、島内の企業から「まず因島高校から採用して残りを他県から」と声をかけていただき、地域の学校として大切にされていることを感謝しています。

却時こまやかな指導を行ってきた先生達です。生徒も先生も進路意識の高い学年です。生徒の希望がかなうようサポートしていきます。

平成十五年入試合格者の主な大学短大 (国立大) 山口大、広島県立大、広島女子大、広島県立保健福祉大 (私大) 同志社大、京都産業大、近畿大、関西学院大、神戸女子大、川崎医療福祉大、広島女学院大、安田女子大、福岡大、など

## 市民に信頼される高校になるために

### 因島高校生徒指導部

昨年度は土生、重井両校舎の生徒がはじめて同じ校舎で学んだが、何かにつけ指導が徹底されず苦悩しました。しかしながら、二月以降、教職員が校舎内外の巡視の徹底を行い、非常に落ち着きを見せ、新入生を迎えるのに理想的な準備体制が取れました。遅刻数も昨年当初一二〇名が十人前後になりました。

この指導を取り入れる予定である。従来は、違反回数によって個別指導を行っていたが、放課後残って基礎学力の作業(英数国)と反省文をかすことにより、自覚を高めさせるものである。状況がよくなれば、指導対象から外し声かけ(叱咤激励)に切り替える予定。

生徒の状況を把握しながら、三段階の指導によって、生徒自身が善悪や判断ができ、自主性や公共心が育つことを期待している。

二人は、三月二十六日(水)因島高校定時制普通科へ入学願書を提出したところ、翌日、高校から、「県教育委員会の方針で、高校の普通科卒業生は受験できない。」と回答がありました。

現在、因島高校定時制では生徒が減少し、学校の統合も叫ばれる中、学校を存続させるために一般市民の入学も呼びかけており、現在、三人の中高年の方が若い人たちに交

昭和四十二年、大分県教育庁が文部省に、「高等学校普通科卒業後、大学鉱山学部を卒業したものが、高等学校定時工業科電気科に再入学した。学業成績もよいので、普通科科目について、履修を免除して専門科目だけの履修で卒業させてもよいか。」と照会したところ、文部省初等中等教育局高等学校教育課は「高等学校の普通科をいったん卒業したのについて、高等学校の普通科以外の学科に再入学することは可能であり、校長の判断により、工業の専門の教科のみ履修させ、卒業させることは差し支えない。」と事務連絡(回答)をした。

文部省事務連絡は、昭和四十二年のもので、現在、定時制の生徒は減少し、むしろ、入学者が増えれば、生徒数も確保され、安定すると考えます。村井圭一さんと村上正則さんは、PTAや支援する会の活動を通じ、高校のすばらしさを市民にPRしてきましたが、「定時制を、市民がバックアップし、また、そのことにより、市民も学習の場が提供される、こんなすばらしいことは無い。ぜひ県教育委員会は、考えなおしてほしい。」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

## 定時制普通科受験要件見直し 県教育委員会に要望書

四月三日(水)、因島高校PTA会長村井圭一さんと、前会長村上正則さんは、広島県教育委員会を訪問し、因島高校定時制普通科の受験要件の見直しなどを求める要望書を提出しました。

二人は、三月二十六日(水)因島高校定時制普通科へ入学願書を提出したところ、翌日、高校から、「県教育委員会の方針で、高校の普通科卒業生は受験できない。」と回答がありました。

現在、因島高校定時制では生徒が減少し、学校の統合も叫ばれる中、学校を存続させるために一般市民の入学も呼びかけており、現在、三人の中高年の方が若い人たちに交

昭和四十二年、大分県教育庁が文部省に、「高等学校普通科卒業後、大学鉱山学部を卒業したものが、高等学校定時工業科電気科に再入学した。学業成績もよいので、普通科科目について、履修を免除して専門科目だけの履修で卒業させてもよいか。」と照会したところ、文部省初等中等教育局高等学校教育課は「高等学校の普通科をいったん卒業したのについて、高等学校の普通科以外の学科に再入学することは可能であり、校長の判断により、工業の専門の教科のみ履修させ、卒業させることは差し支えない。」と事務連絡(回答)をした。

文部省事務連絡は、昭和四十二年のもので、現在、定時制の生徒は減少し、むしろ、入学者が増えれば、生徒数も確保され、安定すると考えます。村井圭一さんと村上正則さんは、PTAや支援する会の活動を通じ、高校のすばらしさを市民にPRしてきましたが、「定時制を、市民がバックアップし、また、そのことにより、市民も学習の場が提供される、こんなすばらしいことは無い。ぜひ県教育委員会は、考えなおしてほしい。」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

## 市民の投書箱

### 吹奏楽部クラブ活動

◆私の娘は、吹奏楽部に入っています。今年、顧問の先生から、次のような話があり、憤慨しています。

①平日の練習は、技術指導ができないので、生徒だけで練習しなさい。

②土日曜日は、先生がかぎを開けて来るのは大変なので練習はありません。

③コンクールは、出場しない。定期演奏会も今までのような大規模にはやりません。

◆卒業アルバムについて

◆卒業アルバムを見て驚きました。高校生以外の少年も多く載っており、アルバムの体をなしていません。生徒の顔写真も豆粒くらいの子もあり不公平です。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

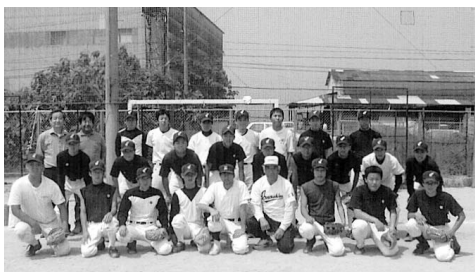
◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。



野球部OB会発足準備中

因島高校では野球部OB会の発足の準備が進められています。旧因島高校硬式野球部OBが、現在の後輩の野球部の支援をするためです。発起人の一人、松浦真博さん(PTA副会長、野球部保護者会副会長)は、現役時代全国大会に出場しましたが、「後に続く後輩の姿を楽しみにしたい」と話しています。

## 編集後記

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。

◆因島高校では、今年度も第二回目の「オーストラリア海外語学研修」を計画し、生徒も期待しています。